



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 きたはりま福祉会	代表者	大西 林吉	法人・ 事業所 の特徴	自然豊かで静かな環境に恵まれた山間部に立地している。 利用者様の生活リズムを大切にし、通い、泊まり、訪問を柔軟に組み合わせ一人ひとりに合わせた利用時間の調整や食事提供を行っている。 地域との関わりも多く、定期的な行事に参加しながら、地域との繋がりを継続できる支援に努めています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護施設 ほたるの里	管理者	黒田 尚人		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	3人	1人	2人	1人	2人	2人	人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	達成できなかった項目への取組みを引き続き行っていく。事業所職員全体の意識向上に向けた周知を継続していく。	全職員対象で継続的に取り組んだ事で目標に対する意識は向上している。今後も引き続き取り組んでいく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を意識した支援を行い、評価や検討している様子がうかがえる。</li> <li>・課題や目標に対して意識しながら取り組む姿勢が見受けられた。</li> <li>・全職員で取り組んでいる姿勢が見受けられる。</li> </ul>	引き続き全職員で自己評価の改善計画に取り組み、質の向上に努めていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	秋祭り以外にも、地域の方々に対して施設をもっと身近に感じてもらえるよう、ほたるの里の情報を発信する方法を考える。	継続して施設利用者様、ご家族向けに毎月新聞を発行し施設での様子を発信する事ができた。今年度は、居宅支援事業所や自治会長や民生委員の方々へも新聞をお配りする事で、広い範囲での発信ができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋祭りがコロナウイルスの影響で中止となり施設へ行く機会がなかった。</li> <li>・訪問時に玄関先で対応して下さったが職員の皆様が笑顔で丁寧に対応してくれた。</li> </ul>	施設がいつでも開かれている事を引き続き発信しながらコロナ禍ではあるが継続して気軽に立ち寄って頂ける雰囲気を作っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	施設へ来て頂ける行事を継続して行っていく事で、施設をより知って頂ける機会を増やしていく。	コロナ禍で地域の行事、イベントが中止となり、ボランティアの受け入れも中止となったが、施設内行事を多く行いホームページに掲載し施設の雰囲気などを知ってもらえた事によって施設の理解を深める事ができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に施設があるのは認識されていると思う。</li> <li>・送迎車などですれ違った際は気持ちの良い会釈や挨拶をしてくれている。</li> </ul>	継続して施設内行事や施設での様子をホームページに掲載して行きながら、雰囲気や様子などを発信し施設を知って頂ける機会を増やす。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	現在の地域との関わりを継続する事で利用者以外で不安を感じておられる方の情報を得る機会とし、関わりが拡大できるように検討していく。	コロナ禍にて地域の方々、自治会長、民生委員との情報交換を定期的に行えず、関わりを拡大できる取組みができなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前に比べて施設と連絡をとる機会が増えたと思う。</li> <li>・必要時には情報交換もできているように感じた。</li> </ul>	地域との関わりに目を向け、情報を得る。民生委員や地域の方など定期的に情報交換を行う場を設ける。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議の会議内容が決まってしまうのが現状であり、新たな取組みに繋がる会議にできるような参加メンバーや議題の工夫を行っていく。	コロナ禍にて運営推進会議が書面会議での開催になった事もあり、新たな取組みに繋がる会議や議題の工夫の実践はできなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書面会議にて現状報告や活動内容を把握する事ができて良かった。</li> <li>・今後も、会議で出した内容を様々な角度から発信し地域全体を巻き込むような事を期待しています。</li> </ul>	運営推進会議での内容を様々な角度から発信し地域全体を巻き込むような事に取り組んでいく。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>ハザードマップの確認等、防災情報を職員全体で把握し周知していく。防災対策計画の作成を早期に行い、訓練に取り組んでいく。</p>	<p>火災発生時の日中想定、夜間想定の実施時に全職員でハザードマップの確認と説明を行った。水害や地震想定の実施については、災害避難計画マニュアルと災害避難時のDVDを活用し訓練を実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から災害に対する備えをしていると感じた。</li> <li>・地域の消防団との合同訓練はコロナ禍にて実施されてなかったが、定期的な連携を引き続きお願いしたい。</li> </ul>	<p>引き続き、全職員で非常災害に対する意識向上に努める。防災情報の把握と周知も定期的に行っていく。</p>
----------------------------	--	--	--	--